



Webinar

義歯調整から 歯科口腔リハビリテーションへの パラダイムシフト

～嚥下補綴(補綴治療における摂食嚥下障害への配慮の必要性)～

高齢者人口の増加にともない、訪問診療だけでなく、医院に来院する患者の高齢者比率も増加するようになりました。社会の高齢化に伴い、高齢者社会における歯科医への要求は、構造回復から機能回復から維持へ、CureからCareへと変わりつつあります。実際、平成30年度は機能型診療の幕開けと言える診療報酬改定が行われ、以降の医療・介護の保健事業ガイドラインなどでも栄養、フレイル(虚弱)といった問題に積極的に歯科医師が取り組むことが益々求められるようになってきています。老年医療の問題は非常に複雑で、疾患の根治だけでなく、患者のQOLにも配慮が求められることです。治療方針には、患者・家族の死生観をも加味しアプローチする必要があります。とりわけ、日本人は経口摂取を望む傾向があり、高齢者を診察する上で摂食嚥下障害治療スキルは非常に重要となります。我々にとって、食事は大きな楽しみであり、経管栄養であっても、口から何かしら摂取することを望まれていることも少なくありません。他方で、高齢者の抱える歯科・口腔の問題は非常に複雑で、咀嚼・嚥下といった機能を維持・回復するには、虫歯、歯周病、入れ歯の構造だけでなく、様々な既往、服用薬剤、老化にともなう生理的機能低下を理解した上で、リハビリテーション医学の導入が必要になります。実臨床を行っている、構造と機能は相補的關係にあり、構造回復という補綴治療と機能回復という嚥下治療は同時並行的に行われるべきものと実感する症例が多々あります。

今回は、日常臨床に潜む歯科治療中の誤嚥のリスク、不良な歯科治療が生じさせている摂食嚥下障害について高齢者を専門に診察している中での気づき・注意点などをお話しさせていただきます。



講師

井口 寛弘 先生

茨城県厚生農業共同組合連合会
JA とりで総合医療センター
高齢者歯科/口腔外科 高齢者歯科科長

開催日時

2021年4月18日(日) 14:00~15:30

お申込み期限 4月15日(木) 17:00まで

受講料

無料

定員

100名

※セミナーは開催定員に達しない場合は中止する場合がございますので予めご了承ください。

開催場所

ZoomによるオンラインWEBセミナーですので、ネット環境が繋がる場所ならばどこでも参加可能です。

※申込後、開催日までに当日参加用のURLとパスワードを送付させていただきます。

※パソコンもしくは、モバイルのZoomアプリが必要になります。

※通信状態により受講が困難となった場合の保障はできかねますのでご了承ください。

写真撮影、ビデオ撮影、録音等はお断りさせていただきます。

お問合せ

株式会社モリタ 大阪本社セミナー係

TEL 0120-988-291 または 06-6338-7146 受付時間 9時~17時(土・日・祝祭日除く)

協賛 株式会社フードケア

お申込みはWEBにてお願いいたします。

義歯調整から歯科口腔リハビリテーションへのパラダイムシフト
～嚥下補綴(補綴治療における摂食嚥下障害への配慮の必要性)～

2021年4月18日(日) 14:00~15:30

お申込みWEB

モリタ WEBセミナー

検索



携帯電話・スマートフォンからお申込みいただけます。